



平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年1月11日

上場会社名 松竹 株式会社 上場取引所 東・大・札・福
 コード番号 9601 URL http://www.shochiku.co.jp
 代表者（役職名） 代表取締役社長 （氏名） 迫本 淳一
 問合せ先責任者（役職名） 取締役 （氏名） 井手 良樹 TEL 03-5550-1699
 四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年2月期第3四半期の連結業績（平成24年3月1日～平成24年11月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	58,361	4.7	2,411	—	1,251	—	1,124	—
24年2月期第3四半期	55,756	△18.0	△278	—	△1,445	—	△3,593	—

（注）包括利益 25年2月期第3四半期 639百万円（－％） 24年2月期第3四半期 △3,288百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第3四半期	8.19	—
24年2月期第3四半期	△26.16	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年2月期第3四半期	172,111	64,492	37.4	469.12
24年2月期	171,934	64,286	37.3	467.39

（参考）自己資本 25年2月期第3四半期 64,445百万円 24年2月期 64,215百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	3.00	3.00
25年2月期	—	0.00	—		
25年2月期（予想）				3.00	3.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想（平成24年3月1日～平成25年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,050	9.8	2,270	159.6	530	—	140	—	1.02

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年2月期3Q	139,378,578株	24年2月期	139,378,578株
② 期末自己株式数	25年2月期3Q	2,003,760株	24年2月期	1,987,562株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年2月期3Q	137,383,091株	24年2月期3Q	137,407,223株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報

(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、震災復興関連需要、企業の設備投資、個人消費等、堅調な国内需要を背景に、緩やかな持ち直しの傾向がみられる一方、歴史的な円高水準の継続、欧州の財政問題や新興国経済停滞等、依然不透明な状況のまま推移しました。

このような状況下、当企業グループはより一層の経営の効率化を図り、積極的な営業活動を展開いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高58,361百万円(前年同期比4.7%増)、営業利益2,411百万円(前年同期は営業損失278百万円)、経常利益1,251百万円(前年同期は経常損失1,445百万円)となり、特別利益53百万円、特別損失25百万円を計上し、四半期純利益は1,124百万円(前年同期は四半期純損失3,593百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(映像関連事業)

映像関連事業におきましては、配給は、春休みには「おかえり、はやぶさ」が厳しい結果となった一方、「エクスペンダブルズ2」「映画 ひみつのアッコちゃん」は堅調に推移しました。ゴールドエンウィーク公開作品「わが母の記」は評価も高く、上半期の収益に貢献しました。興行は、(株)松竹マルチプレックスシアターズ運営の各劇場では、邦画では大ヒットコミックが原作の「テルマエ・ロマエ」、洋画では「バイオハザードV リトリビューション」等が好成績を収めました。テレビ制作、映像ソフト、テレビ放映権販売等は堅調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は34,228百万円(前年同期比3.4%増)、セグメント利益は1,556百万円(前年同期はセグメント利益95百万円)となりました。

(演劇事業)

演劇関連事業におきましては、新橋演舞場は、6・7月の2ヶ月にわたる二代目市川猿翁・四代目市川猿之助・九代目市川中車襲名披露興行が大きな話題となり、高い収益をあげました。また、「八月花形歌舞伎」では「伊達の十役」が好評を博し、好成績を収めました。大阪松竹座は、「團菊祭五月大歌舞伎」「九月大歌舞伎」を上演したほか、毎年夏・冬の関西ジャニーズjr.公演を春にも上演し、賑わいを呈しました。南座は、坂東玉三郎主演の5月「ふるあめりかに袖はぬらさじ」、6月「坂東玉三郎特別公演」と、並行して2カ月連続で開催した展覧会「歌舞伎ミュージアム『玉三郎“美”の世界展』」の組み合わせが話題を呼び、好成績を収めました。しかしながら、依然として続く消費自粛傾向により団体のお客様の動員が伸びず、全体としては厳しい状況となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は14,910百万円(前年同期比9.2%増)、セグメント損失は172百万円(前年同期はセグメント損失1,286百万円)となりました。

(不動産事業)

不動産事業におきましては、築地松竹ビル(ADK松竹スクエア)、有楽町センタービル(有楽町マリオン)、新宿松竹会館等が順調に推移し安定収益の確保に貢献いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,216百万円(前年同期比5.3%増)、セグメント利益は2,698百万円(同5.0%増)となりました。

(その他)

その他におきましては、プログラム・キャラクター商品販売は、「シャーロック・ホームズ シャドウゲーム」「ダークナイト ライジング」「アウトレイジ ビヨンド」等、邦画・洋画の大作・話題作での売上が好調に推移しました。また一連のアニメ作品については、キャラクター商品の売上も好調で、「劇場版 TIGER & BUNNY -The Beginning-」「機動戦士ガンダムUC episode5」等が収益に大きく貢献しました。貸衣裳事業、清掃事業等は堅調な成績をあげております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,006百万円(前年同期比0.9%減)、セグメント利益は317百万円(同22.3%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ177百万円増加し、172,111百万円となりました。これは主に設備が減少したものの、建設仮勘定（責任財産限定対象）が増加した事等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ28百万円減少し、107,619百万円となりました。これは主に、短期借入金や流動負債の「その他」に含まれる未払費用、長期借入金（責任財産限定）（1年以内返済予定のものを含む）等が増加したものの、長期借入金（1年以内返済予定のものを含む）が減少した事等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ205百万円増加し、64,492百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年2月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期累計期間の業績、今後の見通し及び株式市場の動向を検討した結果、現時点においては平成24年4月13日付「平成24年2月期 決算短信」にて公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,844,645	10,311,349
現金及び預金(責任財産限定対象)	2,736,972	3,562,670
信託預金(責任財産限定対象)	3,375,387	3,419,914
受取手形及び売掛金	5,755,141	5,735,260
有価証券	—	300,000
商品及び製品	1,420,720	1,481,767
仕掛品	1,556,412	1,481,818
原材料及び貯蔵品	89,536	81,149
その他	3,729,383	3,649,162
貸倒引当金	△20,387	△12,130
流動資産合計	30,487,813	30,010,963
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,676,868	20,967,704
信託建物(責任財産限定対象)(純額)	13,504,996	12,989,798
設備(純額)	13,708,048	12,525,400
土地	23,610,621	23,610,620
信託土地(責任財産限定対象)	18,751,834	18,751,834
建設仮勘定(責任財産限定対象)	8,348,379	11,228,972
その他(純額)	3,767,918	3,828,656
有形固定資産合計	103,368,666	103,902,987
無形固定資産		
のれん	7,380	5,238
その他	1,694,432	2,425,252
無形固定資産合計	1,701,813	2,430,490
投資その他の資産		
投資有価証券	11,960,724	11,749,209
長期前払費用(責任財産限定対象)	14,664,066	14,444,459
その他	9,856,113	9,690,395
貸倒引当金	△127,276	△124,523
投資その他の資産合計	36,353,627	35,759,541
固定資産合計	141,424,107	142,093,020
繰延資産	22,309	7,561
資産合計	171,934,230	172,111,545

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,508,047	6,566,897
短期借入金	4,098,000	7,102,500
1年内返済予定の長期借入金	12,161,333	6,510,328
1年内返済予定の長期借入金(責任財産限定)	775,000	28,090,000
未払法人税等	345,862	309,453
賞与引当金	434,091	211,208
その他	5,355,107	7,033,648
流動負債合計	29,677,443	55,824,036
固定負債		
社債	1,100,000	1,100,000
社債(責任財産限定)	10,000,000	10,000,000
長期借入金	20,547,232	18,760,317
長期借入金(責任財産限定)	34,895,000	10,000,000
退職給付引当金	1,523,600	1,546,187
役員退職慰労引当金	687,027	647,674
資産除去債務	1,286,781	1,306,565
その他	7,930,354	8,434,296
固定負債合計	77,969,997	51,795,042
負債合計	107,647,440	107,619,079
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,018,656	33,018,656
資本剰余金	30,066,711	30,066,711
利益剰余金	1,749,120	2,453,950
自己株式	△1,270,555	△1,283,106
株主資本合計	63,563,932	64,256,211
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	651,213	189,587
その他の包括利益累計額合計	651,213	189,587
少数株主持分	71,644	46,666
純資産合計	64,286,790	64,492,466
負債純資産合計	171,934,230	172,111,545

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
売上高	55,756,188	58,361,568
売上原価	33,038,785	34,031,486
売上総利益	22,717,403	24,330,082
販売費及び一般管理費	22,995,818	21,918,283
営業利益又は営業損失(△)	△278,415	2,411,798
営業外収益		
受取利息	47,328	42,261
受取配当金	88,021	127,167
負ののれん償却額	21,973	3,423
その他	208,942	103,271
営業外収益合計	366,266	276,124
営業外費用		
支払利息	1,047,659	972,728
借入手数料	111,540	108,283
持分法による投資損失	22,072	1,672
その他	351,698	353,817
営業外費用合計	1,532,971	1,436,503
経常利益又は経常損失(△)	△1,445,120	1,251,420
特別利益		
固定資産売却益	—	53,838
投資有価証券売却益	20,209	—
貸倒引当金戻入額	10,288	—
新株予約権戻入益	71,712	—
債務免除益	241,378	—
特別利益合計	343,588	53,838
特別損失		
固定資産売却損	65,567	—
固定資産除却損	22,647	9,438
投資有価証券売却損	—	6,550
投資有価証券評価損	1,958,357	9,260
関係会社整理損	17,386	—
環境対策費	47,217	—
災害による損失	717,646	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	494,513	—
特別損失合計	3,323,336	25,248
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△4,424,868	1,280,010
法人税、住民税及び事業税	273,175	313,952
法人税等調整額	△1,317,307	△134,856
法人税等合計	△1,044,132	179,096
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,380,735	1,100,914
少数株主利益又は少数株主損失(△)	213,249	△24,064
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,593,985	1,124,978

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△3,380,735	1,100,914
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	92,339	△456,780
持分法適用会社に対する持分相当額	△588	△4,904
その他の包括利益合計	91,750	△461,685
四半期包括利益	△3,288,985	639,229
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,502,034	663,352
少数株主に係る四半期包括利益	213,049	△24,123

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年3月1日 至平成23年11月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	映像関連事業 (千円)	演劇事業 (千円)	不動産事業 (千円)	その他 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
売上高							
外部顧客への売上高	33,111,785	13,648,806	4,954,108	4,041,487	55,756,188	—	55,756,188
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	89,647	86,608	1,404,682	2,874,885	4,455,823	△4,455,823	—
計	33,201,432	13,735,414	6,358,791	6,916,372	60,212,011	△4,455,823	55,756,188
セグメント利益又は 損失(△)	95,165	△1,286,922	2,570,107	408,989	1,787,340	△2,065,755	△278,415

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、舞台衣裳の製作・販売・賃貸、プログラムの製作・販売、キャラクター商品の企画・販売、演劇舞台の大道具・小道具・音響の製作・販売、音楽著作権の利用開発・許諾、不動産の管理・清掃等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,065,755千円には、セグメント間取引消去18,334千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,084,089千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る経費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年3月1日 至平成24年11月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	映像関連事業 (千円)	演劇事業 (千円)	不動産事業 (千円)	その他 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
売上高							
外部顧客への売上高	34,228,123	14,910,469	5,216,096	4,006,879	58,361,568	—	58,361,568
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	38,308	83,254	1,278,791	2,750,139	4,150,494	△4,150,494	—
計	34,266,432	14,993,724	6,494,888	6,757,019	62,512,063	△4,150,494	58,361,568
セグメント利益又は 損失(△)	1,556,032	△172,835	2,698,544	317,655	4,399,396	△1,987,597	2,411,798

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、舞台衣裳の製作・販売・賃貸、プログラムの製作・販売、キャラクター商品の企画・販売、演劇舞台の大道具・小道具・音響の製作・販売、音楽著作権の利用開発・許諾、不動産の管理・清掃等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,987,597千円には、セグメント間取引消去18,562千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,006,160千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る経費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。